

## 2024 年 10 月からの新制度とは

2024 年 10 月から「長期収載品の選定療養」という新しい制度が始まります。これにより、ジェネリック医薬品がある薬において、先発医薬品を選ぶ場合、追加の「特別の料金」を支払うことになります。

新制度での「特別の料金」とは、「先発医薬品と後発医薬品の価格差の 4 分の 1 相当の料金」のことです。例えば、医療費の自己負担割合が 3 割で、先発医薬品の価格が 2000 円、ジェネリック医薬品の価格が 1000 円だとしましょう。この場合、「特別の料金」は次のように計算されます。 ●先発医薬品とジェネリック医薬品の価格差：2000 円－1000 円＝1000 円 ●特別の料金：1000 円÷4＝250 円 ●消費税込み料金：250 円×110%＝275 円 先発医薬品を選択した場合、自己負担は次のとおりになります。 ●従来の制度：2000 円×0.3＝600 円 ●新制度：（2000 円－250 円）×0.3＋275 円＝800 円 このように、今までは先発医薬品を選択すると 600 円だった自己負担額が 800 円に増えます。

**令和 6 年 10 月 1 日から、後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品の処方を希望される場合は、特別の料金が加算されます。**

- 先発医薬品と後発医薬品の薬価の差額の 4 分の 1 相当を、特別の料金として、自己負担していただくことになります。
- 医療上、先発医薬品の処方が必要と認められる場合は、特別の料金は必要ありません